広報

つるた

鶴と国際交流の里
TSURUTA

2026
9
No.791



＜主な内容＞

鶴田町長選挙当選者のお知らせ … 2
つるたまつり２０２６ …… 2～3
フッドリバーと鶴田の友情は永遠に！ 4～5
こちら町の情報局 …… 6～12
みんなのひろば …… 13～15
話題にしひがし …… 16～17
新しく着任した方々を紹介します … 18

つるりんねぶたをひいて
ハイ、チーズ♪ 関連2・3ページ

鶴田町長選挙の当選者をお知らせいたします

任期満了に伴う鶴田町長選挙が７月28日告示されました。８月２日には投開票が行われ、相川正光氏が再選されました。

鶴田町長選挙当選者



相川（あいかわ）　正光（まさみつ）氏
（中野・72歳・④）
任期：令和８年８月21日
～
令和12年８月20日

※○内は当選回数

お出迎えの様子



若い世代から選ばれる町づくりを目指して
第４期相川町政がスタート

町民のくらしを守る

このたびの鶴田町長選挙におきまして、町民の皆様の力強いご支援と温かいご厚情を賜り、引き続き鶴田町長の重責を担うことになりました。

あらためて私に課せられた使命と責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

さて、私は４期目の立候補にあたり、「国・県と連携した物価高対策の推進」、「子育て、教育に対する保護者負担の軽減拡充」、「農業所得の向上と地域経済の活性化を支援」、「防災・減災、除排雪、クマ対策の強化」、「生徒の夢を叶える下山学園高校への支援の継続」の５つの公約を掲げさせていただきました。

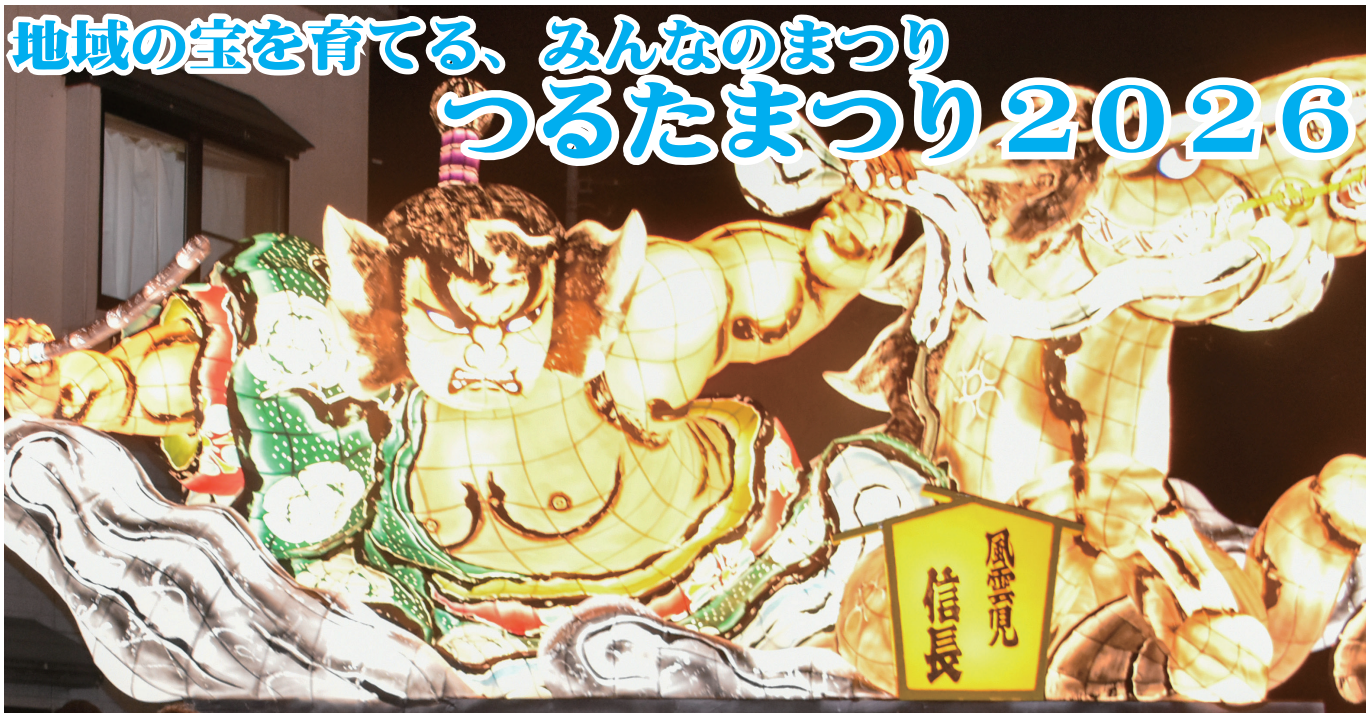
これまでの取組と成果を踏まえつつ、公約に掲げた５つの事項に重点を置きながら、町の最大の課題であります少子化・人口減少に対応するため「若い世代から選ばれる町づくり」を目指す第６次町総合計画を引き続き前に進めて参ります。

同時に、今まさに最優先すべきは、町民のくらしを直撃している物価高騰への対策です。国・県との連携により、迅速かつ実効性のある支援を形にして参ります。

町民の皆様の「くらしを守る」ために、さまざまな施策を進め、「常にチャレンジ」する心構えで、町政運営に邁進してまいる覚悟であります。

今後も、初心を忘れることなく、町民の皆様のため、町発展のため、誠心誠意、まちづくりに取り組んでまいりますので、これまで以上のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、４期目の就任にあたってのごあいさつといたします。

鶴田町長　相川　正光











８月 15･16 日の２日間、「つるたまつり」が開催されました。

15 日は、子どもたちが楽しめる遊具が設置されたほか、バルーンアートやシャボン玉ショーが行われました。特設会場ではねぶたの囃子に合わせた太鼓叩き体験のほか、ビアガーデンや JA つがるにしきた農協鶴翔支店提供による特産物抽選会が行われました。

夜にはつるりんねぶたを先頭に、11 台のねぶた・太鼓が合同運行で町内を一巡しました。つるりんねぶたをひいた子どもたちは満面の笑みを浮かべていました。

運行コースの沿道には多くの観客が集まり、一体となって掛け声を響かせました。参加団体が披露する個性豊かな囃子の音色をはじめ、華やかな踊りや迫力ある獅子舞が披露され、訪れた人々を魅了しました。













16 日の夜には、富士見湖パークで打ち上げ花火が行われました。富士見湖パークでの花火は前回（2019 年）から７年ぶり。３年にわたった鶴の舞橋改修工事完成を祝う目的で、約 3,000 発の花火が夜空を彩りました。当日は、シャトルバス運行や臨時駐車場の開設が必要なほど多くの方々にご来場いただき、会場は大変な熱気に包まれました。

ひとつのプログラムが終了するごとに、客席からは割れんばかりの盛大な拍手が送られました。「メッセージ花火」の企画では、心温まるメッセージが次々と読み上げられ、会場内は「おめでとう」や「ありがとう」といった歓声と優しい笑顔に包まれていました。

グランドフィナーレでは、色とりどりの花火が打ち上がった後、夜空と湖面の２か所で巨大なしだれ柳の花火が打ち上がり、光と音が織りなす幻想的な演出で会場を華やかに盛り上げました。

フッドリバーと鶴田の友情は永遠に！



８月６日～ 12 日までの７日間、姉妹都市盟約を結ぶ米国オレゴン州フッドリバー市から訪問団 24 人が来町しました。
今回の訪問団を引率したリサアン・カワチさんは、以前当町で国際交流員として勤務した経験があり、町民との再会を喜んでいました。

フッドリバー市民訪問団代表者 スピーチ



フッドリバー市
姉妹都市委員会会長
リサアン・カワチ

新型コロナウイルスが世界的に流行した中、私たちの姉妹都市としての絆が途絶えることなく交流を再開できたことは、何より喜ばしいことです。
今回の訪問でもきっと新たな出会いと友情が生まれることと思います。訪問団員一同、ホストファミリーの皆さんとお会いできることを心待ちにしていました。鶴田町での生活を肌で感じ、体験する機会をくださったことに、深く感謝いたします。



アヤ・ヤスイ

温かく歓迎いただき、ありがとうございます。
私の曽祖父であるレイ・ヤスイは49年前、鶴田町と姉妹都市提携を結びました。弟のレンと私は、ヤスイ家の４代目として鶴田町を訪れ、温かく迎え入れてもらえることを大変嬉しく思っています。
私たちの家族はこれまで何度も鶴田町民をお迎えしてまいりました。旧友に再会できること、そして新しい友達を作れることを楽しみにしています。









８月６日の夕方、国際交流会館において、フッドリバー市民訪問団の歓迎会が盛大に開催されました。
はじめに相川町長が「日本の文化に触れながら、たくさんの思い出を作り、友好の輪を広げてください。」と歓迎の挨拶。続いて、第 38 回中学生大使の佐藤悠太さんが「鶴田町でお会いできて嬉しいです。ホームステイをぜひ楽しんでください。」 と歓迎の言葉を贈りました。
その後、「名誉町民証」と記念品が贈呈されました。さらに、今年３月にフッドリバー市を訪問した中学生大使による体験発表が行われ、現地での貴重な学びや思い出を振り返りました。
アトラクションでは、鶴田町太鼓の会が力強い和太鼓や五ッ太鼓の演奏を披露。訪問団のメンバーも実際に太鼓の演奏を体験し、出席者と一緒になって日本の伝統文化を楽しみました。
会場は大きな拍手と笑顔に包まれ、国境を越えた温かい絆を深め合う貴重なひとときとなりました。





滞在中、訪問団は歴史文化伝承館や道の駅など町の観光施設を見学しました。今年改修工事が完了した鶴の舞橋を訪れた際には、橋の上から記念撮影を行うなど富士見湖の景観を堪能していました。

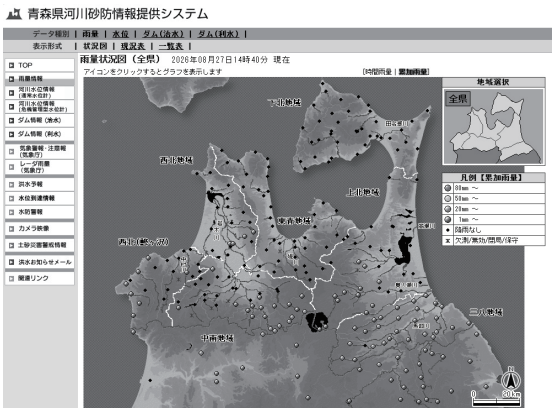
また、鶴田小学校での校舎見学のほか、鶴田中学校では中学生が訪問団一人ひとりの名前を漢字で考え、訪問団員は名前の書き方を教えてもらっていました。下山学園高等学校では、オリジナルのうちわ制作や弓道を体験。訪問団は交流を楽しみながらも、日本文化への理解を深めていました。

８月 12 日の正午、訪問団の出発を見送るため、多くのホストファミリーたちが集まりました。あちこちで別れを惜しむ涙があふれ、抱き合いながら再会を誓う姿も見られるなど、深く結ばれた絆を胸に訪問団は鶴田町をあとにしました。

河川防災情報を配信・提供しています

◆身近な河川の水位等をチェックしましょう

「河川砂防情報提供システム」では、国・県・気象庁が観測している雨量・河川水位・ダム情報等を確認できます。早めの情報収集、避難準備を心がけましょう。



◆お家のテレビで河川の水位が確認できます！

「地上デジタル放送」の「データ放送」で**河川水位情報**をわかりやすく、ご家庭のテレビで確認できるようになりました。

～操作方法～
①「NHK総合」にチャンネルを合わせる
② テレビのリモコンの「dボタン」を押す
③ TOPメニューの「防災・生活情報」を選び、決定
④「河川水位情報」を選択

携帯電話版　　スマートフォン版

■問い合わせ先
県土整備部　河川砂防課 企画・防災グループ　☎：017-734-9662
西北県土整備事務所　河川砂防施設課　☎：0173-35-2107

つるたまち議会活動報告

VOL.22（文責：議会運営委員会委員長　長内　齋）

当委員会は、佐藤剛議員を新たに委員として加え、８月 10 日に会議を開催し、新委員長にわたくし長内齋、そして副委員長に一戸雅人委員を選任いたしました。

これまで、開かれた議会を目指すべく、定例会開催予定日の早期公表や議員の成り手不足問題を背景に議会をもっと知ってもらえるよう、町広報誌を活用した議会活動報告や議会一般質問のインターネット配信などに取り組んでまいりました。

今後も議会のスムーズな運営に資するよう議会の中心的な役割を果たすことはもとより、町民の皆さんに議会に関心を持ってもらえるような議会改革にも取り組んでいきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



町臨時除雪職員を募集！

▽職種および募集人員
除雪運転手　若干名
▽応募資格
①鶴田町に住所を有し、中型自動車免許・大型特殊自動車運転免許証および車両系建設機械運転講習終了証を有する方
②道路除雪の経験のある方
③冬期間、継続して業務に従事できる方
▽契約期間
令和８年12月～令和９年３月
▽申込方法
申込書・資格免許証等の写しを10月30日（金）までに提出
※申込書は建設整備課に設置
■問い合わせ・申込先
建設整備課 土木係（内線285）

9月・10月は行政相談月間

９月～10月までの２か月間は、『行政相談月間』です。
町民の皆さまが、毎日の暮らしの中で、役所の仕事(道路・河川、年金、医療保険、福祉、登記、労働基準、雇用保険、自動車検査・登録、窓口サービスなど)について、苦情や意見・要望などがあるときは、お気軽にご相談ください。
相談は無料かつ秘密厳守です。
■問い合わせ先
住民環境課 環境対策係
（内線152）

法人県民税・法人事業税・特別法人事業税の申告には電子申告が便利！

青森県では、「eLTAX」を利用したインターネットによる法人県民税・法人事業税・特別法人事業税の申告受付を行っています。自宅・オフィスのパソコンから申告できる、電子申告に関連した申請・届出の手続きもできる等のメリットがあるので、ぜひご利用ください。
詳しくは「eLTAX」ホームページをご覧ください。
■問い合わせ先
青森県西北県税事務所 課税課
☎：0173-34-2111（内線208）

令和8年度 津軽地域障害者就職面接会のご案内

五所川原公共職業安定所では、障害をお持ちの方を対象とした障害者就職面接会を開催します。面接会には障害者雇用を考えている事業所が多数参加します。
▽日時
令和８年10月26日(月),27日(火)
13:00 ～ 15:30(受付 12:30 ～)
▽場所
ヒロロ４階 弘前市民文化交流館ホール（弘前市大字駅前町9-20）
▽申込期限
10月６日（火）まで
■問い合わせ・申込先
五所川原公共職業安定所　専門援助部門
☎：0173-34-3171

「法の日司法書士無料相談会」

10月１日は法の日です。日常生活での困りごとや法律上の悩みについて司法書士が、面談での無料相談に応じますので、お気軽にご相談ください。
※相談は無料ですが、具体的な手続きが必要になる場合には、別途費用が掛かりますので、相談員にご連絡ください。また、相談は当日先着順で、予約はできません。
【五所川原地区会場】
▽日時
10月10日（土）10:00 ～ 15:00
▽場所
つがる市生涯学習交流センター「松の館」視聴覚室
（つがる市木造若緑52）
▽相談内容
相続・登記・遺言・成年後見・多重債務・裁判所提出書類作成等
■問い合わせ先
青森県司法書士会
☎：017-776-8398
FAX：017-774-7156




9月の町税等納期

○上下水道料金 9月分　【9/24(木)】
○町営住宅使用料 9月分　【9/25(金)】
○固定資産税 3期　【9/30(水)】
○国民健康保険税 3期　【9/30(水)】
○介護保険料 3期　【9/30(水)】
○後期高齢者医療保険料 3期　【9/30(水)】
※【　】納期限日

行政・人権相談

町では、町民の皆さんの行政に対する意見や要望、日頃生活する上での困り事など、さまざまな内容の相談を受けるための行政相談と人権相談を行っています。
■期　日　10月13日（火）
■相談時間　午前10時～午後3時
■場　所　国際交流会館1階 101会議室

防災無線を聞き逃したら！

町の防災行政無線では、災害情報や町のイベント情報などを町民の皆さまに周知しています。
放送内容が聞き取れなかった場合、下記の方法で確認できます。
◆電話で確認
☎：0173-23-2333
◆町ホームページで確認
http://www.town.tsuruta.lg.jp/

裁判員経験者の声をお届けします！

裁判員制度は、法律の専門家ではない国民のみなさんに刑事裁判に参加していただく制度です。裁判員として参加した後、大変多くの方が「（非常に）良い経験と感じた」という感想を持っています。裁判員制度へ安心して参加いただけるように、裁判員経験者の声をご紹介しておりますので、ぜひ裁判所ウェブサイトをご覧ください。

■問い合わせ先
青森地方裁判所 総務課 庶務係
☎：017-722-5421

青森地方裁判所からのお知らせ

令和８年10月１日から、青森地方裁判所弘前支部及び青森地方裁判所八戸支部の不動産執行事件、債権執行事件、財産開示事件、情報取得事件については、青森地方裁判所本庁で取り扱うこととなりました。

▽既に弘前支部及び八戸支部に申立てをされている事件
10月１日からすべて青森地方裁判所本庁で取り扱います。

▽新たに申立てをされる場合
10月１日から青森地方裁判所本庁で受け付けします（郵送可）。

■問い合わせ・送付先
青森地方裁判所 民事部 執行係
（青森市長島１丁目3-26）
☎：017-722-5625

「令和8年度 あおもりの農山漁村フォトコンテスト」作品募集

青森県の農林水産業を営む人々の豊かな表情や伝統的な文化・行事、四季を通じた農山漁村の風景などを写真で募集します。たくさんのご応募お待ちしております♪

▽申込期限
令和８年10月30日（金）まで

▽応募方法
応募票（ホームページからダウンロード）に必要事項を記入の上、作品に添付し郵送またはメールでご応募ください。

■問い合わせ・申込先
－農山漁村－水循環保全学会事務局
（青森市本町２丁目6-19）
☎：017-723-2404
✉：kikaku-photo@aodoren.or.jp

町の保健だより

問：子ども健康課 健康推進係

「巡回肺がん・結核検診」のお知らせ

●検診日：10月14日(水)～16日(金)
●対象者：40歳以上の方
※対象年齢は令和９年３月31日時点
●検診料：無料
・対象の方には、９月下旬頃に「胸部検診（肺がん・結核）受診票」及び巡回日程表を保健協力員をとおして配付します。
・病院や職場で肺がん・結核検診を受診する機会のない方は、ぜひ受診しましょう。
※65歳以上の方は、法律に基づき結核検診を年に一度は受診するよう規定されています。
※夏期総合健診で「肺がん・結核検診」を受けた方は、今回受ける必要はありません。

悩みを抱えていたら相談してみませんか？

【こころの相談窓口】
●よりそいホットライン
生活の中で困っていること等、どんな悩みでもご相談ください。
☎：0120-279-338（毎日24時間対応）
●こころの健康相談統一ダイヤル
所在地域の公的な相談機関につながります。
☎：0570-064-556
（平日９時～16時、18時30分～22時
※土日・祝日、年末年始を除く）
● NPO 法人あおもりいのちの電話
☎：0172-33-7830（毎日12時～21時）
※メール相談は「あおもりいのちの電話」ホームページから入室

【誰かに話を聴いてほしい】
●鶴田町傾聴ボランティア「つるりんの会」傾聴サロン
日時：第１・第３月曜日（祝日除く）
13時30分～15時
場所：鶴遊館 栄養指導室
☎：0173-22-2111

【SNS相談（LINE）】
●生きづらびっと
（NPO 法人ライフリンク）
対応時間：毎日８時～22時30分
（受付22時まで）
●こころのほっとチャット
（NPO 法人東京メンタルヘルス・スクエア）
対応時間：毎日７時～23時50分
（受付23時まで）
●あおもりけん親子のための相談 LINE
（青森県こども家庭部こどもみらい課）
対応時間：平日９時～17時
（相談メッセージは24時間受付）

生きづらびっと　あおもりけん親子のための相談 LINE
こころのほっとチャット

【どこに相談すればいいかわからない】
●子ども健康課 健康推進係
☎：0173-22-2111

【有料広告】



「選んでよかった」を実感してください。
青森県認定地方卸売市場
株式会社 津軽りんご市場

個別特定健診のお知らせ



町では、毎年４月～翌年２月末まで個別特定健診を実施しています。
集団健診を受けられなかった方や日程上都合がつかない方などは、ぜひご利用ください。

【個別特定健診】

対　　象	30歳代全員、40歳以上の国保・生保、後期の方 ※対象年齢は令和９年３月31日時点での年齢です
健診内容	身体測定・血圧・血液検査・心電図検査・診察・尿検査等
実施期間	令和９年２月末まで
健　診　料	無料
申込方法	子ども健康課⑥窓口または電話でお申し込みください。 受診する際に必要な「申込票」および「受診票」を交付いたします。
医療機関	下記一覧表とおり



医療機関名	住　所	電話番号	予約	備　　考
鶴田診療所（★）	鶴田町大字鶴田字 鷹ノ尾 34	22-2261	予約不要	月～金曜日 午前 8:30 ～ 11:00 受付
今岡医院（★）	鶴田町大字鶴田字 早瀬 24-4	22-2027	要予約	月～土曜日 午前 8:30 ～ 11:00 受付
瓜田医院（★）	鶴田町大字鶴田字 相原 55-1	22-3232	予約不要	月・火・木・金曜日 午前 8:30 ～ 11:00 受付
川崎胃腸科内科医院	五所川原市字 敷島町 56	34-3330	要予約	午前 9:00 ～ 11:00 木曜・日曜・祝日休診
健生五所川原診療所	五所川原市大字 一ツ谷 508-7	35-2542	要予約	平日のみ
すとう mri クリニック	五所川原市姥菟字 船橋 246-1	35-6060	要 電話予約	土曜午後・日曜・祝日休診
冨田胃腸科内科医院	五所川原市字みどり町 4 丁目 128	34-3211	予約不要	午前8:30 ～ 10:00受付 日曜、祝日、第2・4土曜休診
白生会クリニック	五所川原市字 中平井町 142-1	34-6111	来院予約	月～金曜日11:30まで （詳細は直接ご確認ください）
増田病院	五所川原市字新町 41	35-2726	予約不要	午前8:30 ～ 10:00受付 土曜・日曜・祝日休診

※30歳代及び生活保護世帯の方は、町内３医療機関（★印）で受診可能です。
※今年度の集団健診で特定健診を受けた方や人間ドックを受けた方は、個別健診を重複して受けることはできません。

■問い合わせ先：子ども健康課 健康推進係　☎：0173-22-2111

年金受給者への支援策

年金生活者支援給付金制度

年金に上乗せして給付金を支給する制度です。

年金生活者支援給付金制度は、公的年金等の収入やその他の所得額が一定基準額以下の、年金受給者の生活を支援するために、年金に上乗せして支給されるものです。

受け取りには**請求書の提出が必要**です。ご案内や事務手続きは、日本年金機構（年金事務所）が実施します。

対象となる方

●老齢基礎年金を受給している方

以下の要件を**すべて満たしている必要**があります

□ 65 歳以上である

□世帯員全員が市町村民税が非課税となっている

□年金収入額とその他所得額の合計が約 93 万円以下である

●障害基礎年金・遺族基礎年金を受給している方

□前年の所得額が約 492 万円以下



請求手続き（現在、給付金を受け取られている方はお手続きは不要）

▼ 新たに「年金生活者支援給付金」をお受け取りいただける方

1 封筒が届く
対象の方に
請求書が届きます。

▶

2 請求する
請求書に記入し、
切手を貼って投函。

▶

3 受け取る
給付金が
支給されます。

▼ 年金を受給し始める方

年金の請求手続きと併せて年金事務所または子ども健康課⑤番窓口で請求手続きをしてください。

⚠ 日本年金機構や厚生労働省を装った不審な電話や案内にご注意ください

日本年金機構や厚生労働省から、電話でお客様の家族構成や金融機関の口座番号・暗証番号をお聞きしたり、手数料などの金銭を求めることはありません。

◇年金生活者支援給付金のご請求でお困りになったときには、お電話ください。

給付金専用ダイヤル　☎：0570 － 05 － 4092（ナビダイヤル）

子ども健康課 国保年金係 ☎：0173 － 22 － 2111（内線143）

年金生活者支援給付金　検索

働く皆様に将来の安心を。

中退共 CHU-TAI-KYO で退職金。

「中退共」は中小企業のための
国の退職金制度です。

❶掛金の一部を**国が助成**！
事業主の負担を軽減します。

❷掛金は**全額非課税**でオトク！
節税に加え、手数料もかかりません。

❸外部積立型で**ラクラク管理**！
管理や運用の手間がかかりません。

● パートタイマーも
ご加入いただけます。

● 他の退職金・企業年金制度等
との資産移換も可能です。

詳しくはホームページ
をご覧ください。

独立行政法人勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部　TEL（03）6907-1234

稲わらは貴重な有機資源です



稲わらは焼かずに活用しましょう！





◆秋のすき込みで健康的な土づくり！

稲わらのすき込みは、**作土層の増大や土壌窒素の増加など、土壌の改良にとって堆肥とほぼ同じ効果があります。**

◆畜産業での有効活用！

家畜の飼料や敷きわらとして、利用価値が高まっています。



今年は国スポ・障スポの開催により多くの方が来県します。
綺麗な環境づくりに努めましょう。



■問い合わせ先：鶴田町役場　農業振興課 担い手支援係　☎：0173-22-2111（内線291）



旅券手数料が変わりました！

令和８年７月１日から旅券手数料等が次のとおり改定となりました。

手数料の改定に伴い、申請窓口が混雑することや発給までに時間を要することも想定されますので、時間的余裕をもった申請に御協力をお願いいたします。

また、県庁北棟の申請窓口では、申請日時をあらかじめ予約できるサービスを開始します。サービスの利用は、**青森県電子申請・届出システム**に氏名・申請希望日時・メールアドレスを入力し、お申し込みください。申し込み後、予約完了の通知が送信されます。予約当日は届いたメールを窓口担当に提示ください。

※予約のキャンセルや時間に遅れる可能性がある場合、問い合わせ先にご連絡ください。

年齢	旅券種別	申請方法	改定前	改定後
18 歳以上	10 年	電子申請	15,900 円	**8,900 円**
		窓口申請	16,300 円	**9,300 円**
	５年	電子申請	10,900 円	**廃止**
		窓口申請	11,300 円	
	残存有効期間同一旅券	電子申請	5,900 円	**5,400 円**
		窓口申請	6,300 円	**5,800 円**
12 歳以上 18 歳未満	５年	電子申請	10,900 円	**4,400 円**
		窓口申請	11,300 円	**4,800 円**
12 歳未満	５年	電子申請	5,900 円	**4,400 円**
		窓口申請	6,300 円	**4,800 円**

青森県電子申請届出システム

■問い合わせ先：青森県観光交流推進部 国際誘客交流課 旅券グループ　☎：017-734-9217

～ 10月1日から7日までは「公証週間」です～

未来への約束を、公正証書が守ります

公証人は、法務大臣から任命された法律の専門家として、中立・公正な立場から公証事務を担い、国民の権利保護と私的紛争の予防の実現を使命としています。

業務内容

・公正証書で契約書を作って、大切な財産を守る
・公正証書で遺言書を作って、大切な人に遺産を譲る
・公正証書で養育費の給付契約書を作って、子どもの将来を守る
・任意後見契約書を作って、老後の安心を確保
・会社等を設立するための定款を認証
・私署証書に確定日付印を押捺して、文書の存在を証明
※手数料は法定されているので、安心してご利用できます。公証事務に関する相談は無料です。

■問い合わせ先
・青森公証人合同役場（青森市長島1-3-17　阿保歯科ビル4階）☎：017-776-8273
・弘前公証役場（弘前市駅前2-2-3　弘前第一生命ビル7階）　☎：0172-34-3084

五所川原消防フェス2026

10/4日　10:00 ～ 14:00
会場：五所川原消防署敷地内

入場無料　**予約不要**　**雨天決行**

消防フェス とは

防災意識の向上と将来、消防士を目指す子どもたちが増えること等を目的とした、楽しみながら防災を学べるイベントです！

主なイベント内容

- **はしご車搭乗体験**（雨天中止）
- **放水体験**
- **ホース延長ボウリング**
- **応急手当体験**
（協力：五所川原市消防団）
- **スタンプラリー形式でプレゼント**（小学生以下対象）
- **ごしょがわら防災縁日**
（協力：公益社団法人五所川原青年会議所）

車でのお越しの方へ

駐車場は次の場所を利用ください。
・五所川原消防署敷地内庁舎西側駐車場
・マクドナルド五所川原中央店裏緑地

イベント詳細

マイナンバーカード休日窓口



次回開設　**10月10日（土）**
9：00 ～ 12：00

内容
・マイナンバーカードの申請・受取
・電子証明書の更新
・暗証番号の変更、再設定

予約受付

事前予約が必要です。※予約がない日は閉庁します

問：住民環境課 戸籍住民係　☎：0173-22-2111

有料広告募集中

広報つるたでは有料広告を募集しています。
掲載の1か月までに申込みが必要です。
会社のPR、商品の紹介、イベントの告知などにご活用ください。

問 企画交流課　計画係
☎ 0173-22-2111（内線262）

◀町HP
有料広告募集

事業承継×経営支援 セミナー＆相談会

鶴田町と鶴田町商工会では、事業承継をはじめ、経営改善の取組を検討する中小企業・小規模事業者を対象としたセミナーおよび相談会を開催します。

日時
令和8年10月16日(金)
14：00 ～ 16：00

定員 30名
相談無料

場所
鶴田町国際交流会館
202会議室

対象
中小企業
小規模事業者

【第1部】セミナー　14：00 ～ 15：00

① **青森県事業承継・引継ぎ支援センター**
成功事例・失敗事例と対策のポイント、事業承継計画の進め方 など

② **青森県よろず支援拠点**
補助金の活用、経営支援及び相談対応の事例

【第2部】個別相談会　15：10 ～ 16：00

経営全般・事業承継等のお悩みや課題について専門家がアドバイスします。
※事前予約制・先着順
（必要に応じ別日での対応も可能）

申込方法
・申込書を申込先へ提出またはFAXで申し込み
（申込書は申込先のほか、鶴田町役場商工観光課でもお配りしています）

申込先
・鶴田町商工会　☎：0173-22-3414　FAX：0173-22-5518
・青森みちのく銀行鶴田支店　☎：0173-22-3105
・青い森信用金庫津軽営業部　☎：0173-35-2323

■問い合わせ先
鶴田町役場　商工観光課 商工係　☎：0173-22-2111（内線251）　FAX：0173-22-6007
鶴田町商工会　☎：0173-22-3414　FAX：0173-22-5518

労働委員会からのお知らせ

相談無料
秘密厳守

労働相談会を利用しませんか？

対象　県内の労働者・事業主

相談内容　解雇、賃金引下げ、長時間労働など

相談員　青森県労働委員会委員

申込方法　電話予約または当日受付
（予約優先で行います）

青森会場

10月6日（火）13:30 ～ 15:30
10月25日（日）10:00 ～ 12:00
青森県労働委員会
（青森市新町2丁目2-11東奥日報新町ビル4階）

弘前会場

10月4日（日）10:00 ～ 12:00
弘前市総合学習センター
（弘前市末広町4丁目10-1）

労働委員会HP

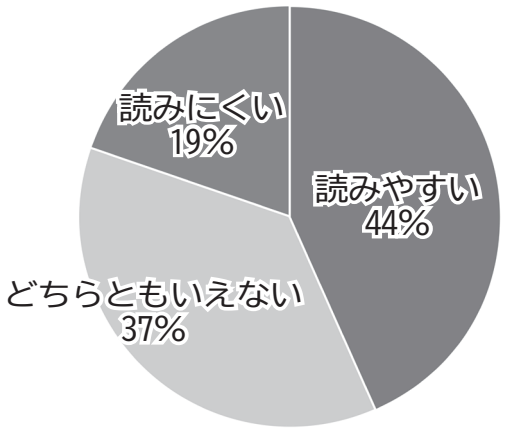
■問い合わせ先：青森県労働委員会事務局
☎：017-734-9832 または 017-734-9836

アンケートの結果報告

7月21日～ 31日の間、広報つるたの綴じ方に関するアンケートを行いました。計216件の回答があり、広報つるたに関するたくさんのお言葉をいただきました。ご協力ありがとうございました。

今後の広報つるたはアンケート結果を踏まえて引き続き「**左綴じ**」で発行いたしますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

アンケート結果（計216件）



寄せられたコメント（一部抜粋・要約）

・議会の内容を詳細に載せてほしい
→８月号より動画の二次元コードを掲載しています
・今は違和感があるが、次第に慣れる気がする
・若い世代も広報を見るような取り組みが欲しい

シークワードに挑戦



◎賞品提供
道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」

【クイズの解き方】
9月20日～26日は「動物愛護週間」です。下の文字から縦・横・斜めに隠れている、**ペットとして人気な動物を7つ**消してください。残った**4文字**を組み合わせた言葉が答えです。
（18ページにヒントがあるよ！）

ア	ウ	サ	ギ	ハ
チ	イ	ネ	ニ	ム
ヌ	ン	イ	コ	ス
マ	ン	チ	ル	タ
コ	カ	メ	ラ	ー

応募締切
10/1
（木）
必　着

応募方法

はがきに答え、住所、 氏名（未成年の方は保護者名も記入）、年齢と広報に対するご意見やご感想などを書き添え、次の宛先までお送りください。

〒038-3595　鶴田町大字鶴田字早瀬 200-1
鶴田町役場企画交流課　計画係　行

正解者の中から抽選で、鶴の里あるじゃより、あるじゃで使える「鶴の舞橋くるみゆべし引換券」と町より「つるりんグッズ」を 5 名様にプレゼントします。

★8月号の答え
「フジミコ」

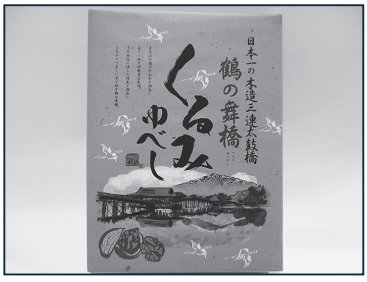
○キーワード（つるたまつり関連）
スベリダイ、ツルタコ、ハナビ、ネブタ、ライブ、ダンス

【8月号当選者（応募総数 12 通）】
高橋康太さん、松山陽子さん、森山裕樹さん、PN「鶴田舞子」さん、PN「リラックマ」さん

【シークワード 8 月号の解答】

ス	ベ	リ	ダ	イ
ツ	ハ	ナ	ビ	ネ
ル	ジ	フ	ブ	ラ
タ	コ	タ	ミ	イ
コ	ダ	ン	ス	ブ

今月のクイズ賞品



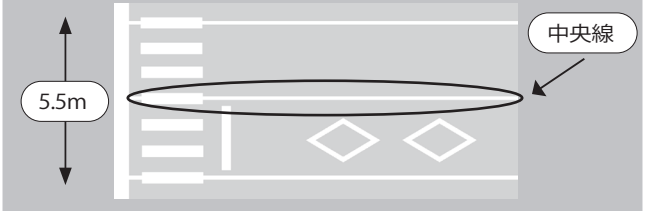
▲9月号クイズ景品　「鶴の舞橋くるみゆべし」

交番あんぜん・あんしん通信

生活道路における自動車の法定速度が引き下げられます！

令和８年９月１日から、主に地域住民の日常生活に利用されるような、中央線などがない道路の法定速度が**30km/h** になります。

【対象となる生活道路】
・中央線（センターライン）や中央分離帯がないこと
・道路幅が両側合わせて 5.5m 未満であること



※上記以外の道路における自動車の法定速度は引き続き 60km/h です（速度標識がある場合は、標識で示された速度を守ってください）。

⚠ 鶴田郵便局からのお知らせ ⚠

不審な電話にご注意ください！

鶴田町内で郵便局からの電話を装った不審電話が多発しています。

機械による自動音声により「郵便物の再配達」等で誘導し、お客さまの個人情報等を聞き出すことを目的としているものと考えられます。

また昼間及び夕方に多く発生しているという情報が寄せられております。

郵便局からお客さまへの電話をかける際、機械による自動音声でのご連絡は一切しておりません。

不審な電話にはくれぐれもご注意ください。



広報文芸コーナー

作　川柳鶴田吟社、鶴田短歌会、たらの芽文芸クラブ

川柳鶴田吟社八月句会作品

暑い日は心の庭に水をまく　下山ゆめ子
キャッシュレス後は野となれ山となれ　工藤りん子
連れ合って百年生きていけたらね　田中　薫
感無量越えた子送る父の壁　香田龍馬
白百合は凛とたたずむ君のよう　阿部ひろゆき
何事も気にせず楽しい人生だ　下山しょうえい
おふたりのリズム元気な音にする　佐藤倫生
舞橋に沈む夕陽を振り返る　菊地志樹
里帰りあの子ワタシを待っている　工藤まさひろ

鶴田短歌会八月作品

あなたさえ元気でいるならそれでいい　妻黙り込むホームの面談　棟方文雄
悲しさと淋しい気持ち乗り越えて　短い人生明るく生きる　奈良鉄子
十本の指曲げ伸ばし腕をあげ　肩を回して今日が始まる　下山秀子
永しへ（とこ）の自慢の岩木山（やま）に懐かしく　里の景色や子供に返ぬ　永沢忠義
いも堀りだひ孫らかご持ち大よろこび　粉ふき芋だよ仏さまどうぞ　三浦悦子
庭に出て娘と一緒に肩並べ　今日はいい日だ草取り日和　松山裕子

■鶴田短歌会　事務局　棟方文雄
☎ 0173（22）5103

たらの芽文芸クラブ八月作品

夏の夜や大きな音と散る光　香音
夏休み妹イメチェン髪を切る　もみじ
遠花火闇夜にうかび闇に散る　ミカサ
切なさに線香花火じっと見る　織田信
釣り堀のうんともすんとも夏の昼　誠也
夕焼けは赤い宝石輝かせ　屋台へ誘ういりんご飴かな　さくら
送り梅雨傘無く走る覚悟決め　落葉
花火消えバケツの水に映る月　樹

■たらの芽文芸クラブ　事務局
☎ 0173（22）6341



戸籍の窓

（8月届出分：敬称略）

ごめい福を祈ります

町名	死亡者名	年齢
野木	田澤　繁樹	65
稲川	笹森　節夫	80
中野	工藤　ソド	82
亀田	成田　テイ	94
松倉	安田　壽穂	86
掛元	澁谷　良満	84
稲川	中村　美江	100
米元	中野　則義	91
米元	澁谷　ヒル	92
亀田	對馬　芳美	85
田の尻	岡　チヨイ	97
田中町	中村一二三	77
中野	相川　敏明	83
稲川	加賀谷定教	78
境	成田　とこ	95
鶴寿団地	木村　貴尚	70
桂井	石村　やよ	93

※この欄に載せたくない方は、届け出の際に戸籍住民係へ申し出てください。

※住民票や戸籍証明書の発行、戸籍の届け出の際には、本人確認が必要です。
窓口にお越しの際は、運転免許証、マイナンバーカードなどの写真付きの本人確認ができるものをお持ちください。

人の動き

8月31日現在（前月比）

人口	11,075人	（－27人）	
男	5,179人	（－8人）	
女	5,896人	（－19人）	
世帯	5,260	（－7）	
出生	0人	転入	12人
婚姻	1組	転出	17人
死亡	22人		

公民館図書室情報局

＼新着本の紹介／



ホップステップホーム！
著：玉岡　かおる

～嫁・妻・母として家を守ってきた著者が、初めての一人暮らしに挑戦～
仕事場の大阪と加古川の自宅を往復して見えてきた夫婦の絆や家族の関係、そして新しい自分－著者初のエッセイ集。

- **さよなら神様** / 著：麻耶　雄嵩
- **パンダのうんこはいい匂い** / 著：藤岡　みなみ
- **わたしはマララ** / 著：マララ・ユスフザイ、クリスティーナ・ラム
- **かるた大会で勝つ！「百人一首」上達のポイント50** / 監修：（社）全日本かるた協会

歴史文化伝承館イベントのお知らせ

《鶴田町生きがいセンター陶芸部会　つるた焼き作品展》

豊かな表情を持つ、魅力が詰まった作品をご覧ください。

日時　9月3日(木)～23日(水)
9：00～16：00

《鶴田写真クラブ　菅野忠範写真展》

鶴田町相原在住の菅野さんが本場札幌よさこいソーラン祭りの活力・若々しさと、年を取って神仏に頼る津軽の原風景を紹介！

日時　9月25日(金)～28日(月)
9：00～16：00(28日は15時まで)

場所　鶴田町歴史文化伝承館 展示ギャラリー　☎：0173-22-2692
※展示期間は都合により変更となる場合がございますので、予めご了承ください。



食改おすすめレシピ

食生活改善推進協議会「みつば会」監修

ヘルシーロールキャベツ

1人分：237kcal　食塩相当量1.2g　野菜の量275g



鶏ひき肉を使っているので、他のひき肉を使うより低カロリーなロールキャベツになります。ボリュームもあり、トマト缶を使うので野菜もたっぷりいただけます。さらに減塩したい方は、減塩コンソメを使うと良いでしょう。ぜひお試しください。

◆作り方

①鍋にお湯を沸かし、キャベツをさっと茹で、水気を切っておく。キャベツの芯の部分はそぎ、みじん切りにする。玉ねぎもみじん切りにする。フライパンに油を熱し、玉ねぎをしんなりするまで炒めて、粗熱をとる。Aはボウルに合わせておく。
② ボウルに鶏ひき肉、玉ねぎ、卵、みじん切りにしたキャベツの芯、塩、こしょうを入れてよくこねる。
③ ②を8等分にし、俵状に形を整えて、キャベツで包む。
④ 鍋に③、水、コンソメ、トマト缶、ローリエを入れ、火にかける。沸騰したら、みりんを加え、蓋をして火を弱め、20分ほど煮込んだらできあがり。

★ポイント

キャベツを茹でる時は、大きな鍋にお湯を沸かし、芯を少し切り抜き、丸ごと茹でます。茹で上がったら1枚ずつはがし、人数分取れたら残りは鍋から取り出します。

◎材料（4人分）

鶏ひき肉……300g
キャベツ8枚(600g)
玉ねぎ1/2個(100g)
サラダ油…小さじ2
卵……1個
塩こしょう……少々
トマト缶 ……1/2缶
コンソメ(顆粒)大さじ1
ローリエ……2枚
みりん……小さじ2
水 ……400ml

A
パン粉……大さじ2　牛乳……大さじ1



運転者に安全運転を呼びかける園児たち

7/31 「安全運転」園児たちが呼びかけ

梅沢保育所　交通安全街頭啓発

五所川原地区交通安全協会梅沢支部と梅沢保育所の園児たちが、横菏ふれあいセンター前で交通安全街頭啓発を行いました。

この活動は鶴田交番の警察官立会いのもと毎年行われています。園児たちは停車した車の運転者に「安全運転でお願いします」と声がけをし、手書きの「こうつうあんぜん」メッセージや反射材、交通安全啓発のチラシを手渡していました。

8/8 子どもも大人もみんなで水遊び！

水ドン2nd

富士見湖パークにおいて、地域の有志でつくる「富士見湖パーク・プロジェクト（通称：ミコプロ）」主催によるイベント「水ドン2nd」が開催されました。

同イベントは、昨年大好評を博した水鉄砲リアルアクションイベントの第２回目。当日は子どもから大人まで町内外から約160人の参加者が集まりました。参加者たちは、お気に入りの水鉄砲を手に縦横無尽に駆け回り、容赦なく水をかけあいながら、夏の暑さを忘れて大はしゃぎ。会場内には終始、爽快な笑い声と歓声が響き渡っていました。



鬼が持っている竿の紙めがけて水鉄砲を撃つ子どもたち



相川町長（前列中央）とユースの会設立関係者たち

8/10 更なる発展に向けて　若手生産者集結

つるたスチューベン・ユースの会総会

町内の若手生産者が集結し、スチューベン・ユースの会を設立しました。

同会はスチューベンの更なる発展や担い手育成、経営能力の向上などが目的で、会員は町内でスチューベンを生産する農家16名。今年度は定例会のほか、９月下旬に宮下宗一郎県知事への表敬訪問と12月上旬に東京都で販売・PRを行う予定です。

相川町長は「知恵を出し合い、幅広い挑戦をして欲しい。また、スチューベンを次世代へつなぐ原動力となることを期待している。」とエールを送りました。

鶴田町・フッドリバー市 姉妹都市50周年フォトコーナー



姉妹都市締結 50 周年を祝う訪問団と
笑顔で迎えた町民のみなさん

Hood River News

8 月 6 日から 12 日にかけて、鶴田町はオレゴン州フッドリバー市から 20 名の中高生と 4 名の引率者を温かく迎え入れました。姉妹都市の友人たちと交流し、互いの理解を深め、国際的な絆を強化する素晴らしい機会となりました。彼らは町内の小中高校や鶴の舞橋、そして近隣観光施設の見学やホストファミリーとの時間を楽しみました。フッドリバー市民の次回の来訪も楽しみにしています！

（筆：シェリー・ザンスラー）

8/15 終戦から81年　戦没者悼む

令和8年度鶴田町戦没者追悼の献花

終戦から 81 年を迎えた８月 15 日、町国際交流会館において、令和８年度鶴田町戦没者追悼の献花が行われました。

会場には献花台が設けられ、訪れた 44 人が献花台に花を捧げ、先の大戦で犠牲となった戦没者 457 人の冥福を祈り、戦後 81 年が経過した今、悲惨な戦争の記憶を風化させることのないよう、恒久平和への願いを新たにしました。



訪れた方々は戦没者の冥福を祈り平和を祈念していました



花火セットをもらって笑顔な園児たち

8/18 花火で楽しい夏の思い出を

鶴田ライオンズクラブ　手持ち花火の寄贈

鶴田ライオンズクラブ（山口俊輔会長）は家族で夏を楽しんでもらいたいと、町内７か所の幼稚園・保育所に手持ち花火セット約300人分を寄贈しました。

同クラブによる寄贈は毎年行われており、今回で７回目。水元保育園で行われた贈呈式では山口会長から園児に花火セットが手渡され、花火を受け取った園児たちは感謝を伝えていました。

山口会長は「この花火が家族との楽しい思い出作りのきっかけになってほしい」と語っていました。

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ 2026 翔けろ未来へ縄文の風に乗って

第80回国民スポーツ大会　第25回全国障害者スポーツ大会

出場選手紹介


アーティスティックスイミング（少年女子）
〈9月3日/青森市〉
佐藤　なな


バスケットボール（成年女子）
〈10月5日～ 8日/むつ市〉
斎藤　和



柔道（成年男子）
〈10月17日～ 19日/つがる市〉
永田　大和

国スポあおもりに出場する町出身の選手を一部紹介します。（敬称略）

詳しい出場者は「青の煌めきあおもり国スポ公式ホームページ」または各競技協会の公式サイトをご確認ください。

地域おこし協力隊通信

Vol.111（筆：佐藤 真生）

７月から地域おこし協力隊に着任しました、佐藤真生です。引っ越してきて１ヶ月が過ぎました。東京で過ごしていた時間とは違い、ゆっくりな時間を過ごしています。

先日行われた「つるたまつり」では、ねぶたの運行に参加させていただきました。参加者の活気に満ち溢れた姿に圧倒されながらねぶた運行をし、久しぶりにお会いした人達とも話せてお祭りを満喫できました。他にも「水ドン」、「勝手に前夜祭」などさまざまなイベントにも参加させていただき、この夏は家族で楽しむことが出来ました！企画、運営の方々ありがとうございました。

いま私は TSURUTA LABO で管理、運営のサポートをしています。その他にまだ１か月で慣れていないことも多々ありますが、これからイベント企画と協力隊の先輩から引き継いだ移住者カフェも頑張っていきます。


▲水ドンに参加した佐藤真生隊員

地域おこし協力隊とは

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を「地域おこし協力隊員」として町が委嘱。隊員には、地域おこし支援や地域協力活動を行っていただき、その地域への定住・定着を図る取組。

Dear People of Tsuruta

８月４日付で、鶴田町国際交流員としてジェシカ・ピアソンさんが着任しました。ジェシカさんから町民のみなさんへのメッセージをご紹介します。



ジェシカ・ピアソン／ Jessica Pearson

イギリス（スコットランド）
パース市出身

鶴田町のみなさん、はじめまして！ピアソン・ジェシカと申します。ぜひジェスと呼んでください。８月に新しい国際交流員として、鶴田町に着きました。

私は、イギリスのスコットランドから参りました。出身はパースという小さい都市で、周りの田舎で育ちました。鶴田町の景色と似ていますので、すぐに慣れると思います。

大学のため、スコットランドの首都エディンバラに引っ越しました。エディンバラ大学で日本学を専攻して、今年の７月に卒業できました。大学３年生の時、京都に１年間留学しました。留学の経験のおかげで、日本で友達を作ったり、大学のサークルに入ったり、旅行できました。日本の留学生生活は素晴らしかったですが、期間が短かったので、社会人として日本に戻れて嬉しいです。

鶴田町に来たばかりですが、鶴田町がもう好きになったと思います。鶴田町のみなさんは親切で、私を歓迎してくれました。津軽弁にはまだあまり慣れませんが、一生懸命勉強するつもりです。

休み時間があれば、趣味のダンスをしています。留学生時代に、民族舞踊サークルで世界中の様々なダンスを習ってきました。さらに、スコットランドで子供の時から、伝統的な「スコティッシュ・カントリー・ダンス」をしています。日本の踊りにも興味がありますので、つるたまつりに参加できて嬉しかったです。

鶴田町のみなさんと文化交流して、一緒に生活できることを楽しみにしています。国際交流員として頑張ります！

これからよろしくお願いいたします。

新しく着任した地域おこし協力隊の隊員を紹介します！

７月 21 日付で、地域おこし協力隊として２名の方が着任しました。

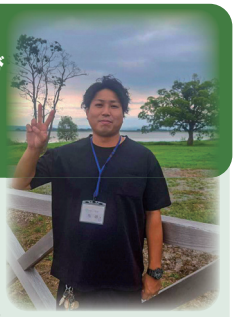
地域おこし協力隊とは、2009 年度から総務省が実施する制度です。

地域おこし協力隊は、都市地域から地方に移住し、地域の課題解決に取り組みながらその地域への定住・定着を図る取組です。

地域おこし協力隊のミッションとは、隊員が移住先の市町村から与えられる役割や任務のことです。

－ ミッション －
地域活性化支援センターの施設管理・運営及び地域交流・観光促進イベントのプロデュース

佐藤　真生 -さとう まお-



Q 自己紹介をお願いします

保育園まではつがる市柏に、小学生から高校生まで鶴田町中野に住んでいました。高校卒業してすぐに東京都の鳶・土工の会社に就職し、足立区に 12 年間住んでいました。

Q なぜ当町の協力隊員になったのですか

東京都のふるさと回帰支援センターで地域おこし協力隊があることを知り、青森県鶴田町のブースで色々な話を伺いました。その時に協力隊になりたい、自分が育った鶴田町の魅力をさらに引き出すお手伝いをしたいと思ったからです。

Q 鶴田町にUターンしてみて

最初は引っ越しもありバタバタしていましたがだいぶ落ち着いてきました。

自分が大好きな鶴田町からの岩木山を毎日見て、育った場所に帰ってきたんだと実感しながら過ごしています。イベント・お祭りを支えている人達、そしてなにより町の人の繋がりがすごく強くて素晴らしいなと思いました。これから自分もその中に入れるように頑張ります。

Q どんな活動をしていますか

主に TSURUTA LABO にて、管理・運営のサポートをしています。そのほかにも、イベント企画と地域おこし協力隊の先輩から引き継いだ移住者カフェを行う予定です。

－ ミッション －
移住・定住促進

佐藤　麻美 -さとう あさみ-



Q 自己紹介をお願いします

夫（佐藤真生隊員）と子ども３人とともに東京都足立区からきました。エキゾチックアニマルのチンチラを１匹飼っています。

東京での暮らしから一転、家族みんなで新しい環境での生活をスタートしました。子どもたちと一緒に、鶴田町の自然や暮らしを楽しんでいきたいと思っています。

Q なぜ当町の協力隊員になったのですか

夫が鶴田町出身であることに加え、東京で開催された青森県移住者フェアをきっかけに地域おこし協力隊について知りました。家族との時間を大切にしながら、地域の皆さんと交流できる環境に魅力を感じ、応募しました。

Q 鶴田町に移住してみて

移住してきて、まだ１ヶ月ほど。静かな朝、寝室から見える岩木山を眺めながら、１日のスタートを迎えています。

着任したばかりで、鶴田町について勉強中ですが、東京ではなかなか味わえなかった自然の近さを、日々五感で楽しんでいます。特産品のスチューベンをはじめ、鶴田町の魅力に触れる毎日がとても新鮮です。

Q どんな活動をしていますか

鶴田町の事を知るため、町内施設や地域のイベントについて学び、移住者目線で鶴田町の移住者向けパンフレットを作成しています。広報などで町の情報発信にも取り組んでいます。町の方々との出会いやさまざまな経験を通して、鶴田町のことをもっと知り、移住者だからこそ気づける魅力を見つけていきたいと思います。

広報つるた

編集・発行　鶴田町役場企画交流課
令和8年9月15日発行　第791号

〒038-3595
青森県北津軽郡鶴田町大字鶴田字早瀬200の１
TEL：0173（22）2111　FAX：0173（22）6007
Ｅメール：tsu_info@town.tsuruta.lg.jp

鶴田町ホームページ
http://www.town.tsuruta.lg.jp/
青森県鶴田町観光情報サイト「メデタイ・ツルタ」
http://www.medetai-tsuruta.jp/

広報に掲載したあなた（家族）の写真を差し上げます。希望する人は、町役場企画交流課計画係（☎0173-22-2111）へ連絡してください。

青森県 鶴田町